

事業コード	04010302	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略
事業名	重点市場におけるFIT誘客プロモーション事業	施策コード	01	施策名	地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化
部局名	観光文化スポー	指標コード	03	施策目標(指標)名	ターゲットを見据えた誘客プロモーションの展開
	課室名	観光振興課	班名	誘客推進班	(tel) 2265
				担当課長名	阪場 進一
				担当者名	羽澤 彩子

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成30年度 ~ 平成99年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 国では平成28年を「東北観光復興元年」と位置付け、東北観光復興対策交付金等を活用して、2020年までに東北の外国人宿泊者数を約3倍の150万人泊に押し上げることを目指している。平成28年における本県の外国人宿泊者数は、対前年比で125.1%と東北全体の123.3%を上回るものの、宿泊者数は東北最下位である。このような状況を踏まえ、訪日外国人旅行者の更なる誘客を図るため、本県が重点市場と位置付ける台湾、韓国、タイ、中国及び香港において、特に増加傾向にあるFITを対象に、SNS等を活用した情報発信を強化するとともに、秋田泊旅行商品の造成と販売促進を図るための誘客プロモーションを展開する必要がある。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 台湾、タイ、韓国、中国及び香港を対象にした各種誘客プロモーションを実施し、重点市場からの誘客拡大を図る。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H29 年 11 月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法
 事業の実施主体 県
 事業の対象者・団体 一般消費者等
 達成のための手段
 ・台湾、タイ、韓国、中国等での誘客プロモーションの実施 (現地セミナーの実施、旅行博等出展、旅行会社・メディア招聘、SNSを活用した情報発信)

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 本事業での取組に加え、当該他事業で実施している取組を重層的に実施することにより、他の手段では代替できない有効性を有する。

訪日外国人の旅行者の動向を踏まえ、台湾やタイ、韓国、中国などの市場をターゲットにした誘客への取組を必要としている事業者が多い。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由

今後の方針

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	全体(最終)計画
01	台湾誘客促進事業	台湾からの誘客を更に加速させるため、秋田泊旅行商品の造成及び販売を促進するほか、旅行博やSNS等を活用し、増加傾向にある個人旅行者の誘客を図る。	35,180	35,180	35,180	35,180	35,180	35,180	
02	韓国誘客促進事業	増加傾向にある個人旅行者を獲得するための取組やSNS等による情報発信の強化、秋田泊旅行商品の造成支援等により、韓国からの誘客拡大を図る。	16,759	16,759	16,759	16,759	16,759	16,759	
03	タイ誘客促進事業	タイにおいて「あきた観光大使」の知名度を活かした情報発信を強化し、本県認知度の向上を図るほか、旅行会社とのタイアッププロモーション等による誘客拡大を図る。	39,651	39,651	39,651	39,651	39,651	39,651	
04	中国・香港誘客促進事業	富裕層個人旅行者を対象に本県ならではのコンテンツを活用した情報発信を強化し、本県認知度を向上させるとともに、日系キャリア等との連携による本県への誘客促進を図る。	39,177	39,177	39,177	39,177	39,177	39,177	
財源内訳		左の説明	130,767	130,767	130,767	130,767	130,767	130,767	
国庫補助金	東北観光復興対策交付金		104,605						
県の債									
その他の			8						
一般財源			26,154	130,767	130,767	130,767	130,767	130,767	

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		秋田県外国人延べ宿泊者数の増加							
指標	指標名	秋田県外国人宿泊者数（全施設）					指標の種類		
	指標式	秋田県外国人宿泊者数×泊数					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a			125,000	150,000	175,000	200,000		
	実績b	66,950		データ等の出典					
	東北			観光庁宿泊旅行統計調査					
全国	3,399,890								
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	07月	翌々年度	月	

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
全国									
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月	

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 海外からの誘客拡大を図るためには、訪日意欲が旺盛で長期的な成長が見込まれる東アジア・東南アジア訪日観光市場からの誘客に取り組む必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 国内旅行市場が縮小するなか、増加傾向にある訪日外国人旅行者に対する誘客活動へのニーズは大きい。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

インバウンド誘客拡大に向けた取組は、より広域である県単位での包括的かつ効果的なプロモーションを実施する必要がある。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業

その他